



あしかが自民党議員会

金子 裕美



5歳から11歳の子どもに対するワクチン接種体制の充実を！

質問

低年齢の子どもへのワクチン接種は、低年齢であるが故に接種を控えて様子見となることが想定される。本人や保護者が納得してから接種を希望したときに常に受けられるような体制にすべきであると考えているが、予約や接種の体制はどのようにするのか。

回答

国からは5歳から11歳までの子どもへの接種について具体的な連絡はないが、同年代に対して初の接種となることから、状況を見ながら接種を判断する方も多いと想定している。関係機関と連携して体制を整えるとともに、予約についてもワクチン供給量を踏まえて混乱のないように取り組む。

ひと言

納得して接種できる相談体制の充実と常に接種可能な体制を確立すべきと考えます。



会派を構成しない議員

尾関 栄子



市民の暮らしを守るために原油価格の高騰対策を！

質問

原油価格の高騰により、市内の灯油価格は値上がりしている状況にあり、市民生活やコロナ禍で苦しむ事業者の経営などに影響を与えている。生活保護受給者を含む低所得者へ灯油購入費を助成する福祉灯油を実施すべきではないか。

回答

本格的な冬を迎えるに当たり、暖房器具の使用頻度が高まる中、原油価格の高騰は市民生活に少なからず影響を与えるものと懸念している。低所得者への灯油購入に対する補助金の創設については、今後の原油価格の動向や本市の気候状況、近隣市の状況などを勘案し、研究していく。

ひと言

灯油購入費の助成について、特別交付税措置を活用した早急な対応を求めます。

12 月定例会が閉会しました。このコラムでは、今回の定例会で可決した2つの議案について振り返りたいと思います。

まず、足利市職員・特別職等の給与条例の改正です。これは、国の人事院勧告に基づいて、市議会議員を含む特別職と市職員の期末手当（ボーナス）を引き下げるものです。今回、国は国家公務員の期末手当を引き下げる方針を決定しましたが、令和4年6月に繰り下げて調整するという異例の対応としました。本市では、人事院勧告の民間準拠という考え方やコロナ禍という厳しい状況にある市民感情などを考慮し、国家公務員に先んじて令和3年12月の期末手当から引き下げを行うため、定例会の初日（11月30日）に同条例の改正を可決しました。

次に、子育て世帯への臨時特別給付の実施のための補正予算です。国は令和3年11月19日に高校

3年生までの子どもに10万円を給付することを決定しました。給付の時期は自治体により異なりますが、本市ではできる限り早く給付を行うため、一般質問の第1日目（12月10日）に先行して給付する5万円のための補正予算を可決しました。さらに国は、12月13日に10万円を現金で一括給付することを容認したため、急遽、定例会最終日の前日（12月21日）に関係する補正予算を可決しました。この結果、本市では12月22日に10万円の一括給付を始めることができました。

異例の対応でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化しているため、今後も速やかに市民生活を支援できるように対応していきたいと思えます。



議長コラム 足利市議会議長 栗原 収

12月定例会を振り返って